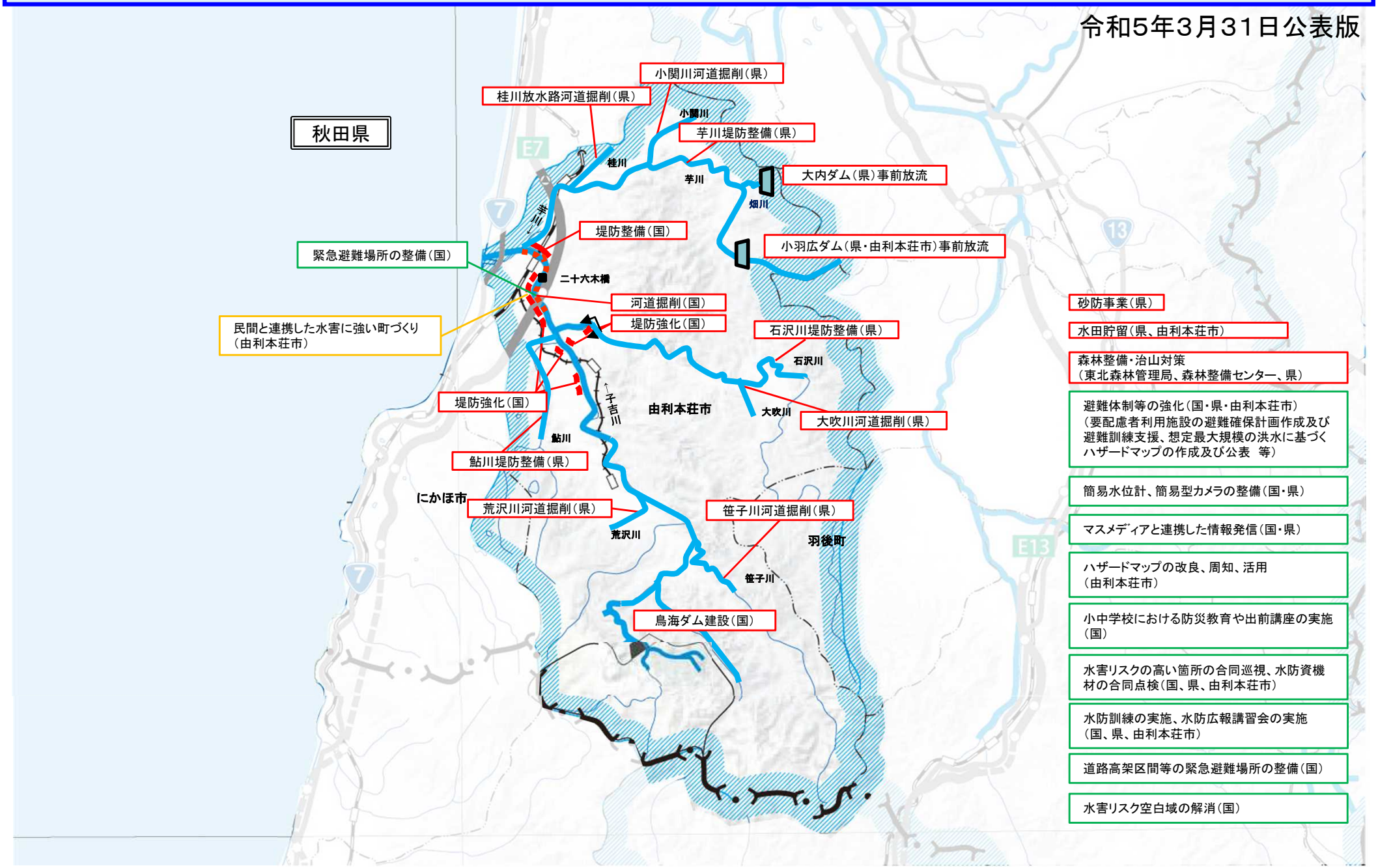
資料－２

子吉川水系流域治水プロジェクトの更新（案）

令和６年度の取り組み状況（個票）

子吉川水系流域治水プロジェクト【位置図（詳細版）】

令和5年3月31日公表版



- 砂防事業（県）
- 水田貯留（県、由利本荘市）
- 森林整備・治山対策
  （東北森林管理局、森林整備センター、県）
- 避難体制等の強化（国・県・由利本荘市）
  （要配慮者利用施設の避難確保計画作成及び避難訓練支援、想定最大規模の洪水に基づくハザードマップの作成及び公表　等）
- 簡易水位計、簡易型カメラの整備（国・県）
- マスメディアと連携した情報発信（国・県）
- ハザードマップの改良、周知、活用
  （由利本荘市）
- 小中学校における防災教育や出前講座の実施
  （国）
- 水害リスクの高い箇所の合同巡視、水防資機材の合同点検（国、県、由利本荘市）
- 水防訓練の実施、水防広報講習会の実施
  （国、県、由利本荘市）
- 道路高架区間等の緊急避難場所の整備（国）
- 水害リスク空白域の解消（国）

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

①氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

氾濫をできるだけ防ぐ対策・減らすための対策

鳥海ダム工事事務所

○洪水調節施設の設置～鳥海ダムの建設～

子吉川沿川の洪水被害の軽減、水需要への対応や渇水被害の軽減を図るため、洪水調節、流水の正常な機能の維持、水道用水の供給、発電を目的に鳥海ダムの建設を推進します。



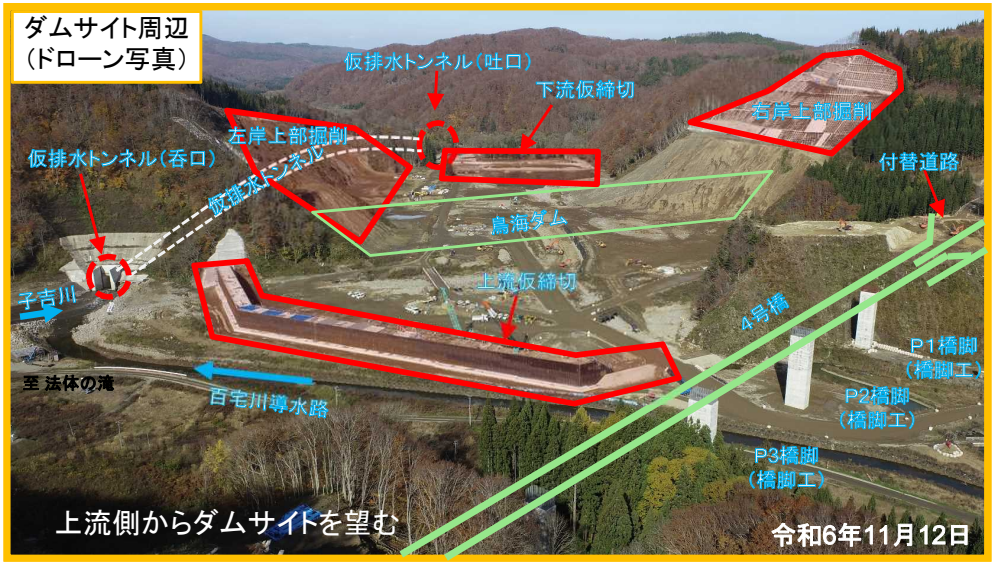


【鳥海ダムの諸元】
河川名：子吉川水系子吉川
ダム高：81.0m
堤頂長：380.4m
総貯水容量：46,800千m3
湛水面積：3.1km2
集水面積：83.9km2
洪水調節：自然調節方式
流量：780m3/s→80m3/s

※ダムの諸元は、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。



鳥海ダムでは、令和元年度より工事用道路など各種工事に着手しています。
令和6年度は、本体打設工事を5月に契約しました。
令和14年度完成に向け、令和7年度は、ダム本体の基礎掘削工事、付替道路工事、工事用道路工事等の進捗を図ります。




右岸上部掘削工事　掘削状況


上流仮締切工事　施工状況

氾濫をできるだけ防ぐ対策・減らすための対策

秋田河川国道事務所

○洪水氾濫対策【河道掘削】

・河川を掘削して水の流れる断面を大きくして水位を下げることで、洪水を安全に流下させる。

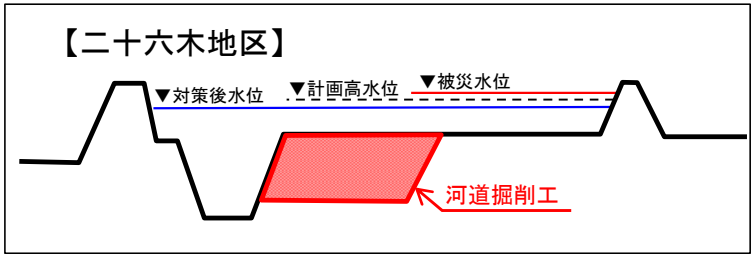
河道掘削　二十六木（とどろき）地区



▲R5施工後



▲R6施工後





▲施工前



▲河道掘削状況

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

氾濫をできるだけ防ぐ対策・減らすための対策

秋田県

○洪水氾濫対策【河道掘削】

・河川を掘削して水の流れる断面を大きくして水位を下げることで、洪水を安全に流下させる対策として、河道掘削を実施する。

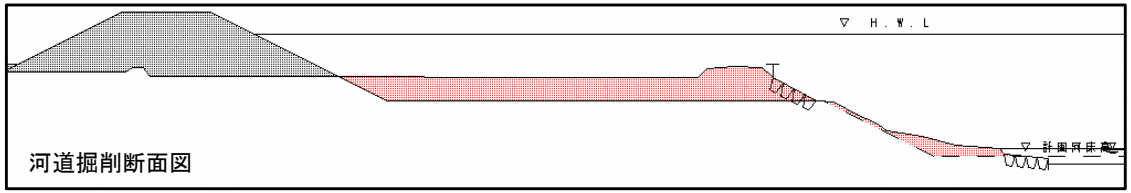
河道掘削　令和６年度　芋川　徳沢（とくさわ）地内



▲R105号 徳沢橋下流
河道掘削完了状況



▲河道掘削状況



河道掘削断面図

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

氾濫をできるだけ防ぐ対策・減らすための対策

秋田県×市町村

○秋田県防災アドバイザー派遣事業による防災力・知識の向上（県総合防災課）

地域全体の防災意識向上や地域の実情に応じた自主防災組織の結成促進、活動活性化を支援することを目的に、秋田県防災士会と連携し防災士を「防災アドバイザー」として派遣し、きめ細かなアドバイスを行うことで、地域防災力の向上を図っています。

【防災アドバイザーの業務】
- ○　自主防災組織の運営・活動支援
- ○　避難誘導・救助訓練、要援護者への対応要領を通じての災害対応力の向上
- ○　ＤＩＧ（災害図上訓練）、ＨＵＧ（避難所運営ゲーム）を通じて防災知識の普及・啓発を図る
- ○　ハザードマップの周知、「マイ・タイムライン」の普及啓発等
- ○　地区防災計画の策定支援



防災士による講演状況



防災備蓄食料品の活用

○自主防災組織育成指導者研修会（県総合防災課・市町村）

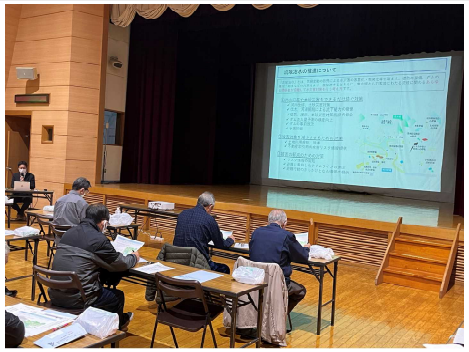
災害発生時の自主防災体制の確立を目的に、自主防災組織のリーダーや自治会長、市町村防災担当職員を対象とした防災教育を実施しています。



秋田大学地域防災減災総合研究センター水田教授による講演



秋田地方気象台によるワークショップ



県河川砂防課による流域治水の説明

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

氾濫をできるだけ防ぐ対策・減らすための対策

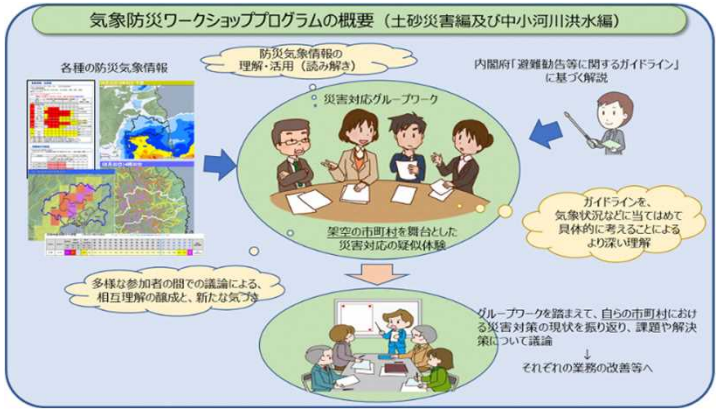
秋田地方気象台×秋田県×市町村

○秋田地方気象台と連携した気象防災ワークショップの開催（県総合防災課）

○　洪水災害や土砂災害が発生するおそれのある状況下で、気象台が発表する様々な情報を活用し、地方公共団体での防災対応を疑似体験していただくことで、各種の防災気象情報を理解し有効活用するとともに、体制の強化や避難指示発令のタイミングを検討することで判断のポイントを学びます。
　今後も県内市町村の防災担当者に広く参加していただき、防災対応力の向上を目指します。

○　地方公共団体等の防災対策協力・支援として引き続き気象防災ワークショップ実施し、現場担当者の防災対応力の向上を目指します。

気象防災ワークショップ（土砂災害）



地域防災力を高めるために

市町村職員として、気象庁などから提供される気象情報等を適切に使い、的確なタイミングで市の体制強化や避難の判断・伝達を実施することで、住民の命を災害から守る

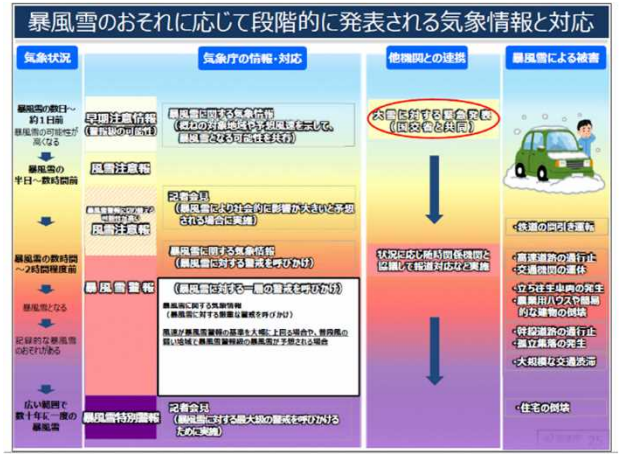
気象庁等	市町村	住民等
警報等	避難情報等	避　難
・情報伝達	・情報収集・伝達 ・防災体制の整備 ・避難の判断	・情報収集 ・避難行動

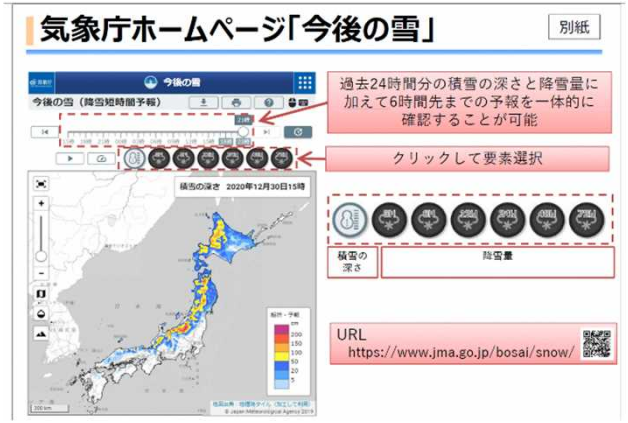
本ワークでの経験や気づきを
今後の業務に活かしましょう！



ワークショップの実施状況

大雪・暴風雪のメカニズムと防災気象情報の利活用





※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

②被害対象を減少させるための対策

被害対象を減少させるための対策

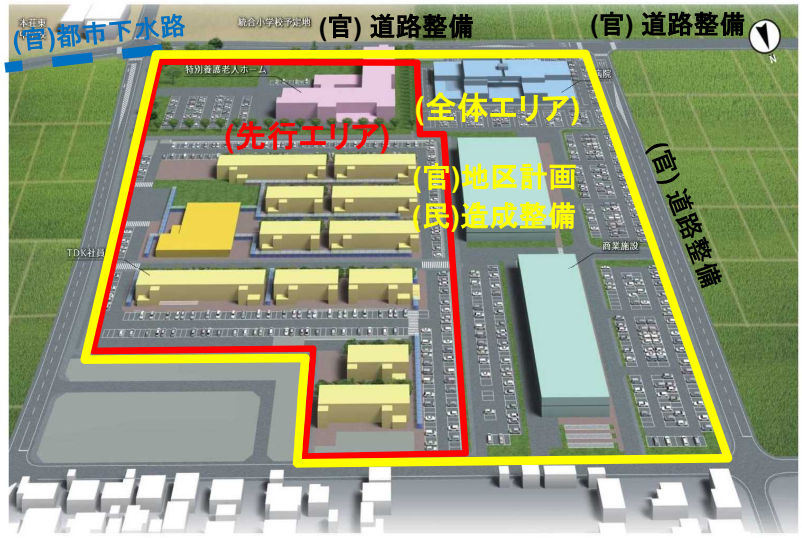
由利本荘市

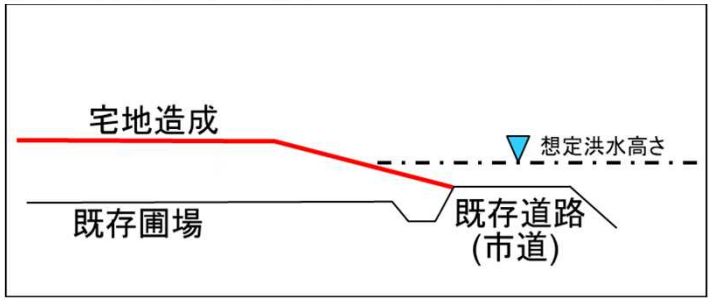
○一番堰まちづくりプロジェクト浸水対策【宅地造成】

- 土地の高さを嵩上げにより浸水被害の減少対策を合わせた官民連携による宅地造成を行う。
- 由利本荘市と民間企業が連携し、社員寮や病院、特別養護老人ホーム、商業施設が一体となったまちづくりを進める構想。
  （居住者４００～５００人の見込み）

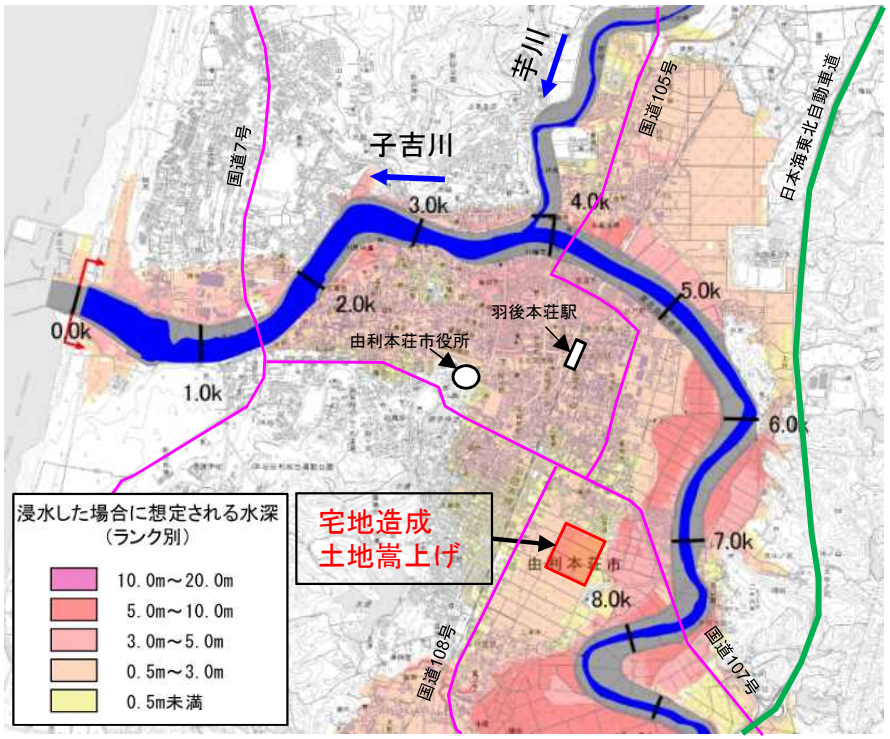
令和3年度:(官)都市下水路および地区計画の都市計画決定
(民)用地買収、造成着手（先行エリア）
令和4年度:(官)都市下水路整備着手、道路整備着手、(民)造成（先行エリア）
令和5年度(官)道路整備、(民)建築（先行エリア）
令和6年度(官)道路整備、(民)造成（先行エリア）
令和7年度(官)道路整備　※予定

Ｒ３～Ｒ７　宅地造成　約９ha
（薬師堂字一番堰地内）





【想定最大規模の洪水浸水想定区域】



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

被害対象を減少させるための対策

由利本荘市

○立地適正化計画の策定

- 現行の都市計画マスタープランの修正に合わせて、**「立地適正化計画」を令和6年8月に策定**
- 計画では「鳥海山を望む歴史あるまちの賑わいと田園の暮らしの魅力があふれるまちづくり」を基本方針に、誘導方針の一つとして「災害に強く、住み続けやすい居住環境の整備」を定め、子吉川流域に隣接する都市計画区域の被害を減少させるためのハード、ソフト対策に取り組む

都市機能の維持・誘導に資する施策例

誘導施策	具体的な内容	実施時期 短期 ～R12	実施時期 中・長期 R13～	ソフト/ハード 所管部署
一番堰まちづくりプロジェクトに伴うインフラ整備				
都市機能誘導を担う一番堰まちづくり地区計画区域におけるインフラ整備を行う。	道路改良事業	→	→	ハード 建設部
	一番堰周辺地区雨水排水整備事業	→	→	ハード 建設部
	上水道施設整備事業	→	→	ハード 企業局
	ガス導管、ガバナ整備事業	→	→	ハード 企業局

居住の維持・誘導に資する施策例

誘導施策	具体的な内容	実施時期 短期 ～R12	実施時期 中・長期 R13～	ソフト/ハード 所管部署
居住誘導区域内で活用可能又は嵩上げ等のある予算・金融上の支援措置の利用を検討				
居住誘導区域における公共施設の再編や複合化に向けて、交付金等の活用による支援を行う。	公共施設等の集約化に係る支援制度の活用	→	→	ソフト 建設部
都市再生特別措置法に基づく届出の運用による住宅開発等の動向把握及び居住機能の緩やかな誘導				
居住を適切に誘導するための届出制度を運用する。	一定規模以上の住宅開発・建築等に係る届出（居住誘導区域外）	→	→	ソフト 建設部

③被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

東北森林管理局、秋田県、
由利本荘市、にかほ市、森林整備センター

○森林の浸透、保水機能の発揮

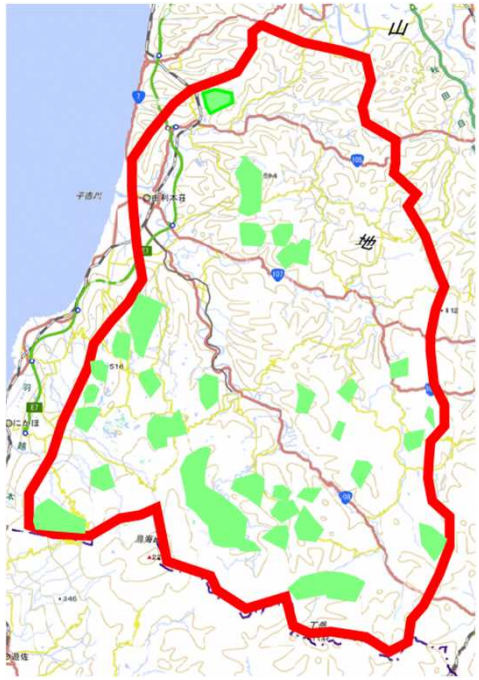
・ 造林、保育、間伐等の適切な森林整備を行うことで、森林の水源かん養機能の高度発揮を図り、下流域における洪水被害を減少させるための取組を実施します。

■事業内容：森林整備
■事業期間：令和5年～
■施　行　地：国有林：林野庁東北森林管理局
　　民有林：秋田県、由利本荘市、にかほ市、森林整備センター

国有林：東北森林管理局
民有林：秋田県、由利本荘市、にかほ市

民有林内の水源林造成事業地
（図の赤枠内緑色部分）
整備機構森林整備センター





国有林：図の太赤枠内緑色部分
民有林：図の太赤枠内薄緑色部分

森林整備実施イメージ

【造林：植栽】



【保育：下刈】



【間伐】



被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

東北森林管理局・秋田県

○治山対策の推進

・ 治山対策の推進により森林の有する水源かん養や土砂災害防止などの公益的機能の高度発揮を図り、下流域における洪水被害や土砂災害を減少させるための取組を実施する。

■事業内容：渓間工・山腹工
■事業期間：令和5年～
■施　行　地：国有林：林野庁東北森林管理局
　　民有林：秋田県



国有林：図の太赤枠内緑色部分
民有林：図の太赤枠内薄緑色部分

治山対策イメージ

【渓間工（治山ダム工）】



【山腹工】



被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

秋田県

「ICTを活用した洪水情報の提供」の一環です。
（※スライド追加）

○視覚障がい者のための情報環境改善と防災・河川情報のリアルタイム配信

・ 視覚障がい者のための情報環境改善を目的に、携帯電話のＧＰＳ機能を利用した「耳で聴くハザードマップ」や、避難情報や河川の水位情報などの防災情報をリアルタイムに配信する「秋田県公式ＬＩＮＥ」の運用を開始しました。

■「耳で聴くハザードマップ」（Uni-Voice Blindアプリ）

携帯電話のGPS機能を利用し、気象情報、標高、洪水リスク、避難場所までのナビゲートなどを音声読み上げアプリ（ユニボイスブラインド）を活用して聴くことができます。

※秋田県防災ポータルサイトからも確認、ダウンロードできます。
https://www.bousai-akita.jp/pages/?article_id=646



① トップ スキャン画面　② 「現在地の情報」画面　③ 「ハザードマップ」画面　④ 「避難場所一覧」画面

■秋田県公式LINE（令和６年５月運用開始）

県政やイベント情報のほか、避難情報や河川の水位情報などの防災情報が、リアルタイムで配信されます。

※配信を希望する情報や地域は選択することができます。



QRコードはこちら

その他、状況に応じて県公式のSNS（Fecebook、X)による配信も行っています。

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

由利本荘市

○共助の仕組みの強化

・ まちづくり宅配講座等において、高齢者等の避難行動に向けた取り組み等について講話を行い地域住民、地域包括支援センター職員の防災知識の普及啓発を図った。

◎講座の内容
・令和6年7月豪雨の被害概要
・各地域特有のハザードについてハザードマップを用いて再確認
・防災情報について
・避難行動要支援者の避難支援等について
・防災知識の啓発普及DVD鑑賞

◎まちづくり宅配講座の実施状況

【令和6年度】
開催数　31回
参加人数1758名（2月20日現在）





※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

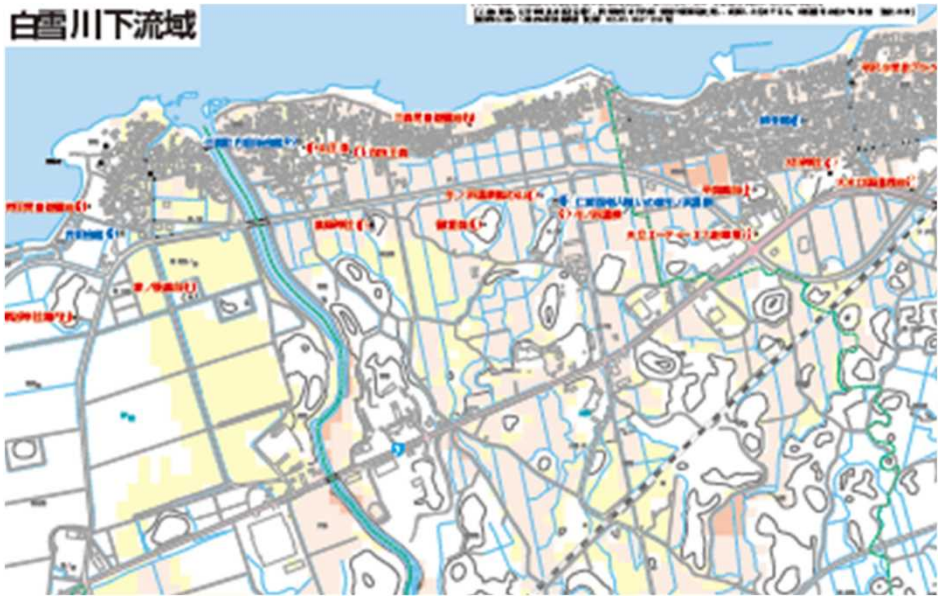
にかほ市

○ハザードマップの周知、活用

令和４年度において、想定最大規模の浸水想定に対応した洪水浸水ハザードマップを作成し、市内全戸への配布を行い、防災意識の啓発を図った。

◎白雪川洪水浸水ハザードマップ

令和3年6月に秋田県知事が白雪川の洪水浸水想定区域を指定したことに伴い、白雪川洪水浸水ハザードマップを作成しました。今後も、他河川の洪水浸水想定区域指定に合せてハザードマップを作成します。



・全戸配布（令和5年3月）
・にかほ市ホームページへの掲載
・市広報（令和5年3月15日号）への記事掲載



▲出前講座等での活用（令和6年度実績）
6団体　参加者人数　89人
その他、防災に関する講習会等で活用し、
多数の住民に周知している。

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。